

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------------|---------------|----|----|-----|----|---|
| 科目番号 | 25-6931 | 科目群 | 演習 | | | | |
| 授業名 | 演習（商法：Asian Business Law Seminar 1） | | | | | | |
| 副題 | アジアのコモンロー系国における主要ビジネス法概観（分野別） | | | | | | |
| 担当教員 | 平野温郎およびシンガポール国立大学からの客員講師 | | | | | | |
| 種別 | 選択 | 単位数 | 2 | 年次 | 2・3 | 学期 | S |
| 他専攻等との合併 | | 法学部・総合法政専攻と合併 | | | | | |
| <p>演習の目的・ねらい・進め方</p> <p>シンガポールの主なビジネス法分野（法制度概要、契約法、財産法、会社法、フィデューシャリー（信託義務）法、不法行為法等を予定）を題材として、アジアのコモンローの概要や基本的特徴を把握するとともに、ビジネスにおける留意点も探っていく。アジアを拠点として活躍する弁護士や企業法務パーソンを志望する者を主な対象として、アジアにおける取引の準拠法としても頻繁に用いられるシンガポール法、および、同法を通じてコモンローのエッセンスを学ぶ機会を提供しようというものである。</p> <p>各教員は、原則として一つの分野につき2コマ（2週連続）を担当する。授業はレクチャーが主体だが、随時質疑応答も行われる（ZOOMオンライン形式による参加可）。用語は第1回のイントロダクション（日本語）を除き、原則として英語である。昨年度の授業録画のサンプルは下記リンクから視聴できる。</p> <p><u>イントロダクション</u> https://www.dropbox.com/s/z9katj2zl7zi5tz/ABLS1_2021.4.9%20%28Hira%20no%29.mp4?dl=0</p> <p><u>会社法パート1</u> https://www.dropbox.com/s/wip7f3p14n408o9/ABLS1_2021.4.30%28Prof.%20Puchniak%20Part1%29.mp4?dl=0</p> <p><u>財産法パート1</u> https://www.dropbox.com/s/1vzdk4jk92kyhdt/ABLS1_2021.6.4%28Prof.%20Chen%20Part1%29.mp4?dl=0</p> | | | | | | | |
| 授業の構成 | | | | | | | |
| <p>昨年度の詳細シラバス（リンク下記）参照。</p> <p>https://www.dropbox.com/s/r5zkxzrkh2zs8k9/Syllabus--Tokyo%20University-NU%20Law%20Course--2021.docx?dl=0</p> <p>参加者には追って詳細シラバスの最新版を配布する。参加者は、毎回のテーマについて、シラバスに指定された関係文献を読んだ上で、質疑応答に積極的に参加することが求められる。演習終了時には、特定のテーマについての研究成果を英文レポート（2トピック、各1,500words）にまとめる。</p> | | | | | | | |

| | |
|--------------|--|
| 教材等 | シラバス記載のもののほか、『シンガポールビジネス法のエッセンス』を用いる予定（本年5月頃に刊行見込み。なお、刊行前の授業についてはトピック毎にPDF化した原稿を配布する。いずれも日本語であるが、法律用語はできるだけ英文を併記し、参加者の便宜を図っている）。その他は、開講時に指示する。 |
| 成績評価の方法 | 筆記試験を 行わない |
| | 平常点を 考慮する |
| | レポートを 課す |
| | 成績を 合格・不合格 で評価する |
| 開講年度 (予定) | 毎年開講 |
| 特記事項 | 参加希望が多数となる場合には選抜で参加者を決めることがありうる。 |